

記入例 14 腰痛調書（被災職員記載面）・腰部疾患所見書（医師記載面）

被災職員があらかじめ記入しておくこと

支部様式第3号

腰痛調書（被災職員記載面）

被災職員	所属 〇〇清掃組合		職名 作業員		氏名 長村 友幸 年 月 日生（ 歳）	
	身長 166・5 cm	体重 58・0 kg		災害発生日時 24年 7 月 8 日 11時 15分頃		
災害発生状況	概要（どのように腰部に負荷がかかったかわかるよう詳細に記入してください。） 中腰の姿勢で持ち上げようとしたところ、タンスが予想以上に重かったため、体をしっかり支えようと腰に力をいれました。					
	災害発生時の姿勢（膝や腰等の曲げ具合を含めて記入してください。） 腰を曲げ、両手で衣装ダンスを持ち、膝を曲げて中腰の姿勢で持ち上げようとしてしました。					
	アクシデントの有無（足を滑らせるなど、突発的な出来事や通常とは異なるアクシデントがなかったか記入してください。） 前日、雨が降っていたため、路面が濡れて足もとが滑りやすい状況でした。					
	腰部への負担	取扱重量物 木製の衣装ダンス				
	重さ 約 80 Kg	大きさ 縦60cm 横80cm 高さ160cm		材質 木製		
	その他参考事項					
上記のとおり相違ありません。 平成 24 年 7 月 14 日 被災職員 長村 友幸 印 所属長 石村 俊 印						

災害発生
の状況について、
具体的に記入すること

注1 災害発生の状況は、できるだけ詳しく記入してください。
2 腰痛調書とあわせて、支部様式第17号「既往歴報告書」も必ず提出してください。
3 被災職員記載面を記載した後、主治医に腰部疾患所見書（医師記載面）の記入を依頼してください。

被災職員記載面を記入した後、医師に記入してもらうこと

腰部疾患所見書（医師記載面）

氏 名		初 診 日		年	月	日
傷病名		療養見込期間（初診日から）				
		ヶ月	週間	日間		
		(治ゆ日 年 月 日)				
		急性症状の消退時期				
		年 月 日				
主 訴						
主 治 医 所 見	レントゲン等検査結果					
	検査所見 ※括弧内にその部位、程度を記入してください。					
	①腰部運動領域の制限			⑤反射異常		
	なし	あり（程度	）	なし	あり（部位	）
	②圧痛			⑥筋力低下		
なし	あり（部位	）	なし	あり（部位	）	
③神経症状			⑦ラセーグテスト			
なし	あり（部位	）	なし	あり（右	左	）
④筋萎縮			⑧大腿伸展挙上テスト			
なし	あり（部位	）	なし	あり（右	左	）
その他の検査所見						
発 症 原 因	いずれかに○印を付してください。					
	1 被災職員記載面の動作・衝撃が直接原因となって発症したものと認める。					
	2 被災職員には、素因又は基礎疾患が認められるが、被災職員記載面の動作・衝撃が有力な原因となって発症したものと認められる。					
	3 被災職員の素因又は基礎疾患が有力な原因となって発症したものと認められる。					
	4 その他（具体的に記入してください。）					
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; height: 100px; width: 80%;"></div> <div style="width: 15%; text-align: center;"> </div> </div>						
上記のとおり所見を述べます。 平成 年 月 日 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">医療機関の</div> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">所在地</div> <div style="margin-right: 10px;">名 称</div> <div style="margin-right: 10px;">担当医師</div> <div style="margin-left: 10px;">印</div> </div>						